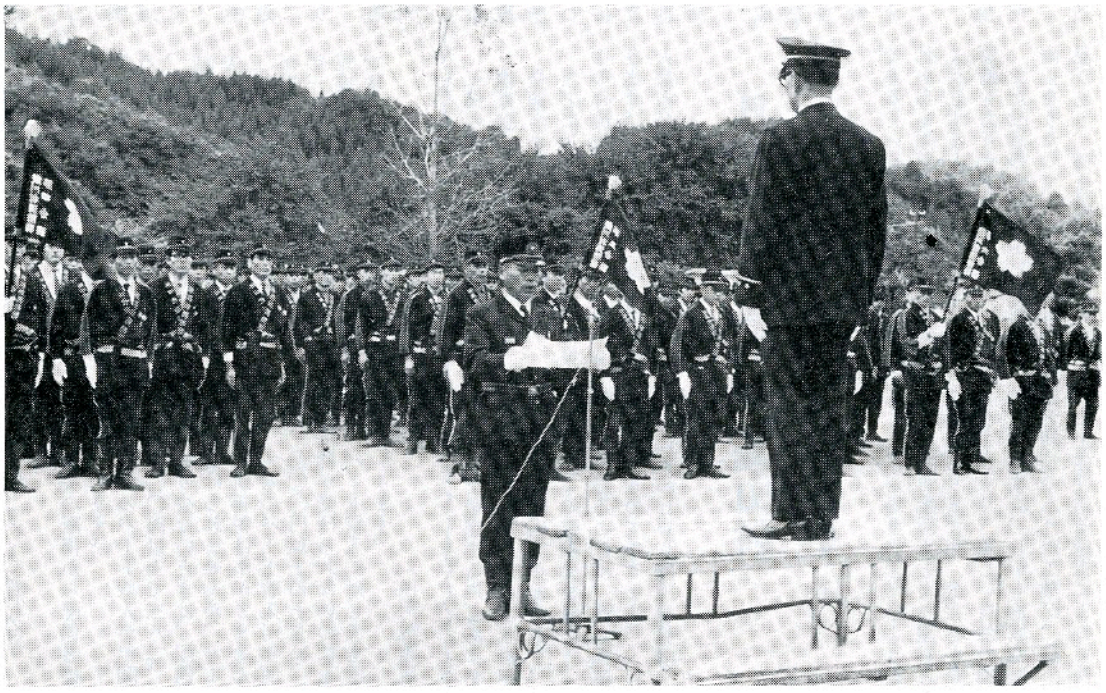
広報
さめがわ

1972
10月号
No.227
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町・佐藤印刷所



防災の守りは固し消防団検閲

村民の生命身体財産を、犠牲の精神で守り続けている消防団の使命は尊い。鮫川村は10月3日を消防の日と定めて毎年消防団の検閲を行つていますが、今年は晴れ上つた秋空の下、鮫川小学校鼓笛隊の市内行進参加もあつて、一段と意識の高揚が見られました。

今春からは、白河広域市町村圏の常備消防出張所も発足して、村の消防体制は画期的に強化されました。

写真は防災の守りを誓う蛭田藤留消防団長と団員の皆さん。

⊙毎月1日は交通事故ゼロ、歩行者優先の日
⊙秋の衛生、伝染病に注意しましよう
⊙第3日曜日は「家庭の日」です

今月の人口
（10月1日現在）

人口	6,340	(+3)
男	3,190	(+2)
女	3,150	(+1)
世帯	1,198	(+2)

新装の鮫川診療所早々完成

教員住宅二棟も続いて建設

現在の鮫川診療所は昭和始め頃の建築で既に老朽化し、また県道沿えのため、自動車などの騒音で診療に支障を来していましたが、このたび過疎対策事業で、赤坂中野字巡ヶ作地内壇の岡林道基点近くに工費六八〇万円、医師住宅二七〇万円で新築されることになりました。

また診療所の近くと鮫中の校地内に教員住宅（計二棟三二七万円）が新築されることになり、競争入札の結果いずれも矢吹町の高田工業株式会社が落札し、来年一月までに完成する予定です。

主婦のパート収入と税金

税コーナー

主婦がパートで働いて給料をもらつたときの所得税は、次のように扱われます。

①、主婦のパート収入が年間三一八、〇〇〇円より少ないときは夫の所得から配偶者控除が受けられます。

②主婦のパート収入が年間三一八、〇〇〇円以上で三八二、〇〇〇円より少ないときは、配偶者控除は受けられませんが、パート収入には所得税はかかりません。

③主婦のパート収入が年間三八二、〇〇〇円以上のときは、配偶者控除が受けられないのはもちろん、パート収入に対しても所得税がかかります。

（白河税務署）

今月の納税

村県民税＝第２期分
国民健康保険税＝第４期分
納期限＝10月25日

おくれず、わすれず納期内に納めましよう

日本列島改造論と農山村

村長　石田卯子八

村長の歩み (18)

田中首相の日本列島改造論がベストセラーを続け、国の内外で大きな話題となつております。この本は田中さんが首相になられる直前に出版されたもので、自民党総裁選の政見発表のような役割を果しました。

それで、田中内閣が成立したのであるから、列島改造計画はすぐにも全面的に実行されるかといいますと、問題は大きく、容易には即断し得ないところであります。

先づ列島改造論では大都市の過密による公害や生活困難と、地方の過疎による荒廃を一挙に解決する。

そのため思い切つた都市改造工業の地方への再配置

地方拠点都市の整備

交通ネットワークの形成

などにより、明治以来の都市集中の奔流をかえようというのであります。これに対しては、現在の大都市公害を全国にバラまくものであるという批判意見があり、これからも無反省に経済成長を続けようとする人間無視であるという反論もあります。

また改造の手法上から農地法の廃止をうたつている点にも反対意見があり、国土改造の資金面からインフレを憂慮する声もあります

しかし、日本列島の現状を率直にみて改造は当然必要であり、日本民族がこの際英知を集めて、勇断これに当ることは、最も緊要であると思うのであります。

それでわれわれ農山村側は、これにどう対処すべきでしようか。

工業の再配置もとより望むところではありますが、公害をまき散らすことなく、美しい自然の環境を損傷せずに、しかも地域の農林業と調和のとれた工業が、農山村側の主体性ある選択によつて決められるべきであります。

それにもまして重要なことは農村が国民食糧の供給基地として一定の国内自給率を確保するための総合的な土地利用計画、地域分担制が確立され、経営規模の拡大、協業化等によつて、高能率高所得の農業が育成されることが、列島改造の農村篇でなければなりません。

そのためには農業の基盤である優良農地が整備確保され、その生活環境が近代人としての生活を保全するに足る程度に整備されるべきであります。

このようにしてこそ農山村が民族のふるさととして、全国民に心のやすらぎを供給する使命をも達し得ると思うのであります。

人事

◉教育委員

・任期満了による退任

緑川　操（委員長）
芳賀　正夫（委員）

・任命（十月一日付）

山形　操（渡瀬字中山）
高坂　尹（赤坂西野字上）

なお教育委員長に芳賀　理男氏委員長職務代理に松本　工氏が互選されました。

◉職員人事（十月一日付）

（昇　格）

・村長部局

総務課長補佐　前田　守保
二等級から一等級に

・議会事務局

鈴木　英亮
二等級から一等級に

・選挙管理委員会

藤田　一男
四等級から三等級に

（新採用）

主事補　鈴木　治男　経済土木課土木係勤務

（退職）（九月三十日付）

沼崎由紀子（保母）

おめでた

九月

滝ノ下　市川　明美　父　甲子男

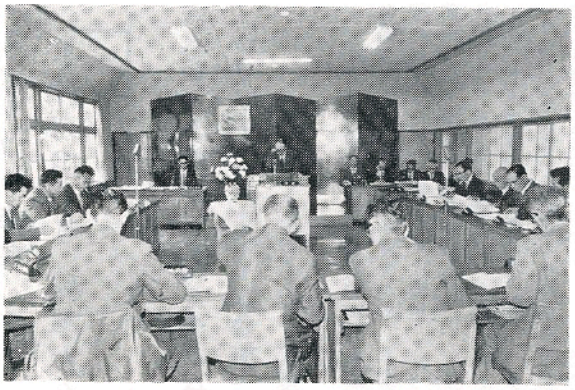
昭和四六年度一般会計決算
九月定例議会で認定

歳入　三九〇、四六四、六〇〇円
歳出　三八〇、〇二九、九三四円
差引残金　一〇、四三四、六六六円
昭和四十七年度に繰越

九月二五日に招集された定例村議会には昭和四六年度一般会計決算認定の議案及び国有林野借受申請など六議案と、議員提案の東白川郡界変更に反対する決議案外一件が提出され、それぞれ原案どおり可決されました。

なお二七日の最終日には任期満了に伴う教育委員の人事案件が提出され、緑川操、芳賀正夫両委員の後任に、赤坂西野字上高坂尹氏と渡瀬字中山山形操氏が選任に同意され、十月一日付で教育委員に任命されました。

決算の内容は、広報さめがわ一一月号で、一般質問の内容は議会広報でお知らせします。


九月定例村議会で決算内容を説明する石田村長

◇　◇　◇

一〇月臨時議会

村の診療所と医師住宅の新築、村民運動場建設に自衛隊作業隊の受入れ、教員住宅の建築など予算補正のため一〇月一七日臨時議会が開かれ何れも原案を可決して同日閉会されました。

新有権者政治講座に参加して

根本日出男
須藤きよ子

郡山、白河、相馬各地方の新有権者一四六名は、自然美のあふれる磐梯高原国立磐梯青年の家で、九月一二日～一五日まで三泊四日の日程で、新有権者としての心構えについて研修をしてまいりました。

第一日目は開会式につづいて顔合せをし、これからの日程について指導を受けました。その後それぞれの宿舎に移動して、いよいよ研修の一歩を踏み出しました。

第二日目は秋晴れの朝のつどいからスタート、猪苗代湖を目の前にして他の集団と共に、国旗及び県旗の掲揚。つづいてすがすがしい気分で、ラジオ体操をし、集団生活が始まりました

政治と選挙、グループリーダーのあり方を受講して、いかに一人一人の意見が重要であるかというあたりまいのことを再認識させられました。一隅に光るものが尊し、この言葉の大切なことがわかりました。午後からは親睦をはかるためフォークダンスやスポーツを楽しみました

また夕べの集いでは青年の家が始まって以来の五百名を越す研修生で大家族となり、とても印象深きものでした

第三日目も晴天に恵まれ心地良いスタートでした。やさしい選挙法、やさしい民法、時事問題についての講義を受けました、時事問題については政治が私達の生活の中に密着していて若者達は大いに政治への考えを深くしなければいけないと思いました

最後の夜のキャンドルサービスは、静粛な中で始まりとても心に残る時間となりました。何か折角仲良くなれたのに別れるのがつらいような、私達の気持が通じたのか最終日は朝からの雨でした。

最終日の研修は、円問題について、と選挙啓発の話を受講しました。啓発のお話では、私達はなにかしなくては、と意気込んでしまうような充実感を覚えました。どのような小さなことでも全力投球ができることこそその人が最も幸せを感じ得られることである。というようなお話でした。

県下全域の若者と、このような機会を得て討論して友達ができましたこと、とても嬉しく思つて居ります。これからの鮫川村になくてならない若者に、こういう勉強の場を与え、若者から若者へと輪を広げていくことこそ明るく正しい社会を築くきづなとなるのではないかと思う。

おくやみ

蕨ノ草　諸橋孝吉　父正則
大平　関根誠一　父勝義
馬場　鈴木孝子　父寛重

九月　世帯主
大平　関根シゲ　59才　正雄
滑石　上田佳一　38才　トシ子

―◇　◇　◇―

□□□□□□□□
学校給食について
鮫川村学校給食センター

学校給食は児童、生徒の身心の健全な発育をねらいとして実施されていますが、この目的を達成するためには、食事内容が栄養的にすぐれて衛生的であり、また魅力的であるように配慮されていなければなりません。

したがつて給食センターにおいては、献立の作成や調理方法に十分留意するとともに給食材料物資については、学期毎に見積りをとり変動のある場合は毎月見積りをとり購入しております。

衛生管理には特に細心の注意をし棚倉保健所の指導のもとに、センター職員全員が協力して常に施設内外や倉庫等の消毒清掃を行ない最善の注意を払つています。今後も父兄の方の御協力をお願いします。

スポーツの祭典

体力つくり 秋季大会
ソフト・バレー・ハイキング

☆バレーの強豪　渡瀬Aチーム連続八回優勝☆

☆ソフト、二一チーム参加　父ちやんチーム　二度目の優勝を飾る☆

十月十日は体育の日、全国的に各種スポーツの祭典がにぎやかに行われましたが、鮫川村では数年前から体力つくり秋季大会として壮年ソフトボール、家庭バレーボール、老人や青少年を対象としたハイキングなど村をあげての体力つくり運動を行っています。

ソフトボールは二一チーム、家庭バレーボールは一六チームと各地域ごとに選抜された精強チームが参加し、会場も五ブロックに分けて行われました。

技量も年々上達し白熱したゲームが展開され観衆を湧かせました。

またハイキングは一〇〇名ほどの参加者があり、青生野地内の集団桑園や牧場をまわり、阿武隈の山なみを展望しながら深みゆく秋の自然を楽しみました。

〔優勝おめでとう〕



晴れの優勝父ちやん（TOCHAN）チームのナイン



強剛の貫録渡瀬Aバレーチーム

試合結果

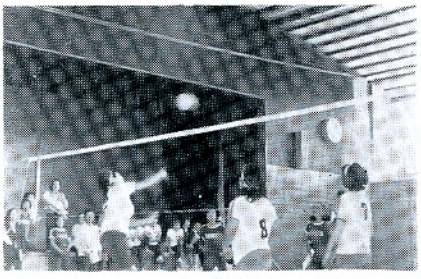
◉壮年ソフトボール（準決勝）

①　父ちやんチーム　28点
　　大塩チーム　2点

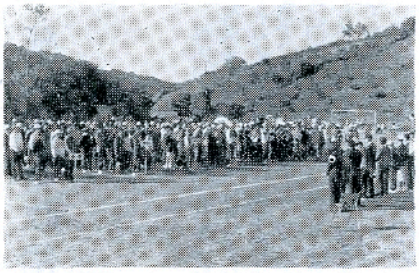
②　西山三区チーム　10点
　　官沢チーム　5点

決勝　父ちやんチーム　8点
　　西山三区チーム　4点

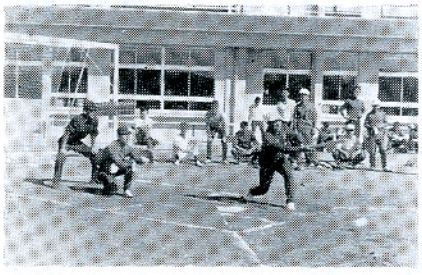
◎家庭バレーボール
優勝　渡瀬Aチーム
準優勝　西野Aチーム



ワン、ツー、スリーの黄色いかけ声！ボールは相手のコートへ？



鮫川小学校々庭に企選手団入場、開会式も空前のにぎやかさ。



思うようにボールが飛んでくれないのが残念！でもたのしかつたこの一日。



阿武隈山系の頂上部にある青生野集団桑園にのぼるハイキングの人たち…昔の青年は健脚が誇り。

行政相談週間

十月十五日から二十一日まで、役所のことについて要望のある方は次の行政相談委員に申出て下さい。棚倉町城跡　鈴木要左衛門

さあ出かけよう
あつ！そのまえに
火のもと点検

これからは、寒い北風と共に、火災の多いシーズンになります。

火災の原因には、たばこの投げすて、子供の火遊びが、主になつていますが、これから寒くなるにつけ、石油ストーブ電気こたつ等の暖房器具が、原因となる火災が目立つて多くなります。

石油ストーブなどを使用する場合手入れ点検のゆき届いた器具を使用するようにして下さい。

最近は石油風呂釜が、多く普及されてきました。操作が、簡単で便利がられていますが不完全燃焼をおこし、ススが多量に溜り異状燃焼を起す場合があります。釜の中にススが溜らないよう常に掃除をすることにし、点火五分後には、必ず風呂釜を点検して下さい。またよく風呂釜のそばに、マツチを置いてありますが、風呂場にかぎらず、マツチは、子供の手の届かない所に置いて下さい。

外に出る時、寝る時、必ず、電気のスイツチ、ガスの元栓、灰皿の点検を、忘れずに。

「めんどうくさいがあとで見る」これが、火事のもとです。

火事と救急車の連絡は あわてず場所と名前を「一一九番へ」